

学習指導要領		練馬工業高校 学力スタンダード
(1) 数 と 式	(イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。	集合 ○集合の要素をかきならべることができる ○2つの集合の共通部分と和集合を求めることができる ○命題の真偽の判断ができる ○必要条件と十分条件を理解できる ○逆・裏・対偶が理解できる
(2) 図 形 の 計 量	ア 三角比 (ア) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。  (イ) 鈍角の三角比 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。  (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。  イ 図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。	1. 三角比 ○正弦・余弦・正接の値を求めることができる。 ○三角比の相互関係が理解できる。  ○ $0^\circ \cdot 30^\circ \cdot 45^\circ \cdot 60^\circ \cdot 90^\circ \cdot 120^\circ \cdot 135^\circ \cdot 150^\circ \cdot 180^\circ$ の正弦・余弦・正接の値を求めることができる。  ○正弦の値を用いて三角形の面積を計算することができる。 ○余弦定理を用い、三角形の一边の長さを求めることができる。 ○余弦定理を用い、三角形の内角の大きさを求めることができる。
(3) 二 次 関 数	ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。  イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。	2 次関数 ○関数の値を求めることができる ○1次関数のグラフがかける ○2次関数のグラフがかける ○平方完成ができる ○平方完成をして、頂点の座標と軸の式を求めることができる ○2次関数の最大値・最小値を求めることができる

学習指導要領		練馬工業高校 学カスタンダード
	<p>(イ) 二次方程式・二次不等式 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。</p>	
(4) デ ー タ の 分 析	<p>ア データの散らばり 四分位偏差、分散及び標準偏差等の意味について理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し、説明する。</p> <p>イ データの相関 散布図や相関係数の意味を理解し、それらを用いて二つのデータの相関を把握し説明すること。</p>	<p>データの分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平均値・最頻値・中央値の言葉の意味が理解できる</li> <li>○データから箱ひげ図がかけられる</li> </ul>